

プロソディーから見た「語」の多面性*

窪 蘭晴夫 (国立国語研究所)

kubozono@ninjal.ac.jp

この発表では主に日本語(東京方言)のデータをもとに、プロソディーの観点から「語とは何か」という問題を考察する。具体的には次の4点を論じる。全体として、音韻構造による定義と形態構造・意味構造による定義はしばしばズレてしまうが、プロソディーの視点から見ると「語」と「句」の境界や「単純語」と「合成語」の境界をめぐる面白い知見が得られることを指摘する。

- (1) a. 音韻構造と形態構造、意味構造は一部でミスマッチを起こす。よって「語」の定義は一樣ではない。
- b. 音韻的には、完全に一語化する複合語(融合タイプ)と全く一語化せず句構造と同じ音韻構造を持つ複合語(非融合タイプ)の間に、中途半端に一語化する複合語(中間タイプ)がある。意味的要因を除くと、これら3種類の複合語は連続的であり、後部要素の音韻的な長さ(&形態構造)によって規定できる。
- c. 「カリフォルニア」や「ところてん」のような5モーラ以上の語は、形態的には単純語(simplex)であっても、音韻的には「探検+隊」や「作曲+家」のような合成語(語+α)と同じ振る舞いを見せる。
- d. 5モーラ以上の単純語を音韻的な合成語(疑似複合語)と捉えると、一見無関係に思える種々の現象が一般化できる。

1. 音韻構造と形態・意味構造のミスマッチ

1. 1. 「語」を「句」と区別する3つの基準: 形態、意味(特殊化、緊密性)、音韻

- (2) a. 句(名詞句): 赤い電話、赤い鉛筆、青い写真、軽い石、甘い酒、甘い納豆、名古屋の大学
- b. 語(複合名詞): 赤電話、赤鉛筆、青写真、軽石、甘酒、甘納豆、名古屋大学

(3) 形態は名詞句、意味と音韻(アクセント)は複合語 ⇒ 形態的な基準は不確か

- a. 竹の子(筍)、つちのこ(槌の子)、蚤の市、天の川、天の邪鬼
- b. 鬼ヶ島、佐渡島、種子島、希望ヶ丘、自由ヶ丘

(4) 英語も形態的な区別が確かでない

- a. 名詞句: English teacher (イギリス人教師)、woman doctor (女の医者、女医)、dancing girl (踊っている少女)
- b. 複合語: English teacher (英語教師)、woman doctor (産婦人科医)、dancing girl (踊り子)

(5) 意味的な特殊化を伴わない複合語もある ⇒ 意味的な基準も不確か

- a. 社会の問題、世界の情勢、私立の大学、教育の改革
- b. 社会問題、世界情勢、私立大学、教育改革

(6) 音韻的な基準

- a. 連濁: うみ+かめ → うみがめ(海亀)

* 本発表の内容については沈力、由本陽子、長屋尚典の3氏から貴重なコメントをいただいた。また本稿はJSPS 科研費(19H00530、23H00627)による研究成果の一部を報告したものである。

but くらまめ (黒豆)、くろふね (黒船)、もんしろちょう (紋白蝶)

b. 母音交替：露出形—被覆形

雨 (ame~ama)：雨降り、雨男 —雨宿り、雨傘、雨合羽

but 竹 (take) —*竹 (taka) 竹藪、竹細工

種 (tane) —*種 (tana) 種油、種まき、種子島

c. アクセント (もっとも確かな音韻指標)

ナゴヤノ+ダイガク → {ナゴヤノ} {ダイガク}

ナゴヤ+ダイガク → {ナゴヤ-ダイガク}

(7) 音韻表示 (∩/=アクセント核、∅/=無核、平板型)

a. ナゴヤノ + ダイガク⁰ → {ナゴヤノ} {ダイガク⁰}

b. ナゴヤ + ダイガク⁰ → {ナゴヤ-ダイガク}

1. 2. 意味構造と[音韻・形態構造]のミスマッチ

(8) a. 地震に⁰強い[街作り]

b. 恐竜の⁰[タマゴ風オムレツ]

c. 赤い⁰[羽根募¹金]、緑の⁰[羽根募¹金]

d. [小首⁰]を傾げる (< 少し首を⁰傾げる)

1. 3. 音韻構造と形態・意味構造のミスマッチ

(9) 意味・形態構造は句構造、{音韻構造} は複合語

a. {家¹族の⁰} {毎¹日に⁰} {ち⁰ょうど⁰} {い¹い} {ホンダ⁰}

→ {家¹族の⁰} {毎¹日に⁰} {ち⁰ょうど⁰い¹いホンダ} [Honda 宣伝]

b. {NH¹K} {た¹ぶん} {こ⁰う} {だ⁰ったんじゃ} {な¹いか} {劇場⁰}

→ {NH¹K} {た¹ぶん} {こ⁰うだ⁰ったんじゃな¹いか劇場} [NHK チョちゃんに叱られる]

(10) 意味・形態構造は複合語、{音韻構造} は句構造 (窪菌 1995)

a. 並列構造 {直立⁰} {不動⁰} vs. {直立歩¹行}

b. 右枝分かれ構造 {紅¹白} {歌合¹戦} vs. {紅白饅¹頭}

c. 格構造 {名¹誉} {棄損⁰} vs. {名誉教¹授}

d. 固有名詞+施設他 {ホ¹テル} {浦¹島} vs. {浦島ホ¹テル}

e. 固有名詞+役職名 {岸田⁰} {首相⁰} vs. {岸田政¹権}

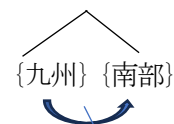
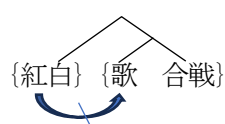
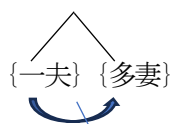
f. チーム名+地名 {フェ¹ニックス} {宮¹崎} vs. {宮崎フェ¹ニックス}

g. 地域名+細部指定 {九¹州} {南¹部} vs. {南部九¹州}

(11) (10a.b.d.g) の一般化 (窪菌 2023)

・複合語の中で連続する2要素(AB)は、AがBを意味的に修飾する場合に(つまりBがAの意味的主要部である場合に)、複合語アクセント規則の適用を受ける。

・複合語アクセント規則は主要部をマークする(head-marking)規則である。



(12) 複合語のミスマッチ (まとめ) : ○=一語としてまとまる、×=まとまらない

音韻構造	形態構造	意味構造	語例
×	×	×	赤い電話、青い写真、名古屋の大学
○	○	○	赤電話、青写真、名古屋大学
○	×	○	竹の子(筍)、鬼ヶ島
○	○	×	地震に強い街作り、赤い羽根募金
×	○	○	一夫多妻、紅白歌合戦
○	×	×	家族の毎日にちょうどいいホンダ NHK たぶんこうだったんじゃないか劇場
×	○	×	??
×	×	○	??

⇒音韻構造がもつとも一語化(複合語化)しやすいように見える。しかしどの基準がもつとも確かかという問題に単一の答えを出すは必要ない(cf.「日本人」の定義:血統主義、出生地主義、言語主義)

2. 音韻構造から見た3種類の「複合語」((10b)タイプの複合語に着目する)

(13) 融合タイプ:後部要素(N2)が4モーラまでなら1つの{アクセント単位}にまとまる。N1のアクセント核が失われ、N1-N2の境界部分に複合語アクセントが置かれる。

a. N2=1~2モーラ → N1の末尾に複合語アクセント(デフォルト)

{中央⁰-道}、{黒蜜⁰-豆}、{地方⁰-局}、{電子⁰-核}

b. N2=3~4モーラ → N2の初頭音節に複合語アクセント(デフォルト)

{チュウオウ-ア⁰メリカ}、* {チュウオウ-ア⁰メリカ⁰} (中央アメリカ)

{ニュー-メ⁰キシコ}、* {ニュー-メ⁰キシコ⁰}

{クロミツ-デン⁰ガク}、* {クロミツ-デン⁰ガク⁰} (黒蜜田楽)

{チホウ-ダン⁰タイ}、* {チホウ-ダン⁰タイ⁰} (地方団体)

{デンシ-オル⁰ガン}、* {デンシ-オル⁰ガン⁰} (電子オルガン)

(14) N2≥5モーラ(中途半端な複合語):N2は自立性(自らのアクセント型)を保とうとする(窪菌・伊藤・メスター 1997)

a. チュウオウ+カリフォルニア⁰ → {チュウオウ-カリ⁰フォルニア⁰}

* {チュウオウ-カ⁰リフォルニア} (中央カリフォルニア)

b. {ニュー-カ⁰レドニア⁰}、* {ニュー-カ⁰レドニア}

c. {クロミツ-ト⁰コロテン⁰}、* {クロミツ-ト⁰コロテン} (黒蜜ところてん)

d. {チホウ-サイ⁰バンショ⁰}、* {チホウ-サ⁰イバンショ}

e. {デンシ-ケン⁰ビキョウ⁰}、* {デンシ-ケ⁰ンビキョウ}

(15) (14)の一般化はN2が平板型でなくてもあてはまる(=N2のアクセント型を保存)

a. {チュウオウ-オ⁰ーストラ⁰リア}

b. {チュウオウ-ユ⁰ウビ⁰ンキョク}

c. {イソップ-モ⁰ノガ⁰タリ}

d. {コウベ⁰ジヨ⁰ガ⁰クイン}

- (16) 東京方言に観察される3種類の複合語
- 融合タイプ：{AB}
 {神戸大学}、{紅白饅頭}、{中央アメリカ}、{南極探検} {関東学院}、{電子手帳}
 - 中間タイプ（前部要素だけ融合しようとする）：{A {B}}
 {神戸 {女学院}}、{中央 {カリフォルニア}}、{ニュー {カレドニア}}、
 {黒蜜 {ところてん}} {南極 {探検隊}}、{電子 {顕微鏡}}
 - 非融合タイプ：{A} {B}
 {紅白} {歌合戦}、{神戸} {女子大学}

(17) 分析：(16a~c)は音韻的な連続体

- 融合タイプ：W+W、W+w、w+W
 {神戸+大学}、{中央+アメリカ}、{南極+探検}、{大+作家}
- 中間タイプ：W+(W+w) もしくは W+(w+W)
 {神戸 {女-学院}}、{中央 {カリフォルニア}}、{南極 {探検-隊}}、{大 {作曲-家}}
- 非融合タイプ：W+(W+W)
 {神戸} {女子+大学}、{紅白} {歌+合戦}

3. 音韻構造から見た単純語と複合語の境界

- (18) 知見：5モーラ以上の語（カリフォルニア、カレドニア、ところてん...）は、形態的に単純語（simplex）であっても音韻的には「女+学院」「探検+隊」「作曲+家」などの合成語（complex）と同じ振る舞いをする。つまり5モーラ以上の単純語は音韻的には合成語（疑似複合語）である（窪菌 2004、窪菌・小川 2005、窪菌 2023）[†]。

3. 1 単純語の短縮と複合語の短縮の一般化

(19) 単純語（外来語）の短縮

ストライキ、チョコレート、テロリズム、デモンストレーション、ロケーション、テレビジョン、パンフレット、シンポジウム、ローテーション、インスタグラム、インフレーション、イラストレーション、リハビリテーション、サブスクリプション、アプリケーション

(20) 短縮語形成にかかる制約（Ito 1990、窪菌 2023）

- 入力条件：短縮語の入力は5モーラ以上の長さを持つ。
- 出力条件（最大性）：短縮形（出力）は4モーラの長さに収まる。
- 出力条件（最小性）：1モーラの短縮形は許容されない（チョコ、*チョコ）。
- 出力条件（最小性）：1音節の短縮形は許容されない（ローテ、*ロー）。
- 出力条件（韻律構造）：〔軽音節+重音節〕で終わる形は許容されない（デモ、*デモン）。

(21) 複合語の短縮（「ケータイ」タイプ）

ケータイ#電話、スーパー#マーケット、カッター#シャツ、カッター#ナイフ、キロ#グラム、キロ#メートル、仮設#住宅、学童#保育、摂氏#温度、隠元#豆

[†] ただし、これによって形態的な基準（語と形態素・接辞の区別など）が否定されるわけではない。

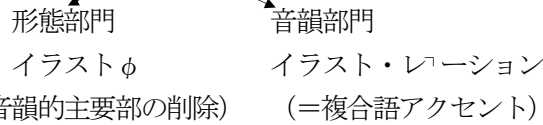
(22) 一般化

単純語の短縮も複合語の短縮も、5モーラ以上を4モーラ以下の長さに変換する操作

☞ 「短縮」は音韻的な複合語を音韻的な単純語に変換するプロセス (窪菌 2004)

(23) 「単純語」の短縮

基底形 イラスト・レーション(/・/ = 擬似形態素境界)

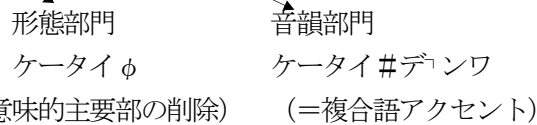


*独立した分節原理 (窪菌・小川 2005)

前部≧後部、ただし音節を分断しない (スト・ライキ、イラスト・レーション)

(24) 「ケータイ」タイプの複合語の短縮

基底形 携帯#電話



☞ 単純語のアクセント規則と複合語アクセント規則が一般化できるという最近の分析と一致 (Kubozono 2008, 窪菌 2023)。

3. 2 4モーラと5モーラの境界 (さらなる一般化)

(25) テンプレート型語形成規則も同じ出力 (4モーラ以下という最大性条件) を持つ (窪菌 2023)

a. 「ポケモン」タイプの複合語短縮

- ポケッ#ト#モン#スター → ポケモン
- ツァー#コン#ダクター → ツアコン
- デジ#タル#カメ#ラ → デジカメ
- キム#ラ#タク#ヤ → キムタク (木村拓哉)

b. ズージャ語 (Ito, Kitagawa and Mester 1996)

- マネージャー → ジャーマネ
- ジャズ → ズージャ ~ ズージャ
- (魔人) ブウ → ウーブ

c. 赤ちゃん言葉

- はう (這う) → ハイハイ
- 負ぶう → オンブ
- ポケット → ポッケ

d. ニックネーム

- マサシ (将司)、マサオ (正男) → マサクン、マークン、マックン
- スチュワードス → スッチー
- マヨネーズ → マヨラー [マヨネーズ好きの人]

e. 「グレージュ」タイプの混成語 (鈴木 2022)

- グレー/ベージュ → グレージュ

ブルー/ベージュ → ブルージュ
ラベンダー/ベージュ → ラベージュ

- (26) 電話番号の読み方：数字列の区切り方も4モーラを上限とする
074-259-1234
- {ゼロナナ} ヨン {ニーゴ} キュー {イチニー} {サンヨン}
 - * {ゼロナナヨン} {ニーゴキョウ} {イチニーサンヨン}
- (27) 重複形オノマトペも同じ最大性条件
- {ゆらゆら}、{ぶらぶら}
 - {ゆらり} {ゆらり}、* {ゆらりゆらり}
 - {ゆら} {ゆらり}、* {ゆらゆらり}
- (28) 「X本」の連濁 (Ohno 2000)：5モーラ以上に連濁 (複合語音韻規則) がかかる
- X本 ≤ 4モーラ → ホン 絵本、赤本、古本、豆本、エロ本、黒本
 - X本 ≥ 5モーラ → ボン 文庫本、単行本、漫画本、エッチ本、緑本、紫本
- (29) 4モーラ以下の語には複合語アクセント規則が働きにくい
- ミケ-ネコ⁰ (三毛猫)、ネコ-バス⁰ (猫バス)、ベイ-ドル⁰ (米ドル)
cf. ペルシャ-ネコ (ペルシャ猫)、コウソク-バス (高速バス)、アメリカ-ドル
 - アレ-ウマ⁰ (荒れ馬)、ケ-ムシ⁰ (毛虫)、シニ-ガミ⁰ (死神)
cf. アバレ-ウマ (暴れ馬)、カブト-ムシ (カブト虫)、ビンボウ-ガミ (貧乏神)
 - キ-ヤマ (木山)、ユ-シマ (湯島)、シン-トウ (新党)、ヨヤ-トウ (与野党)
cf. アサマ-ヤマ⁰ (浅間山)、タカラ-ジマ⁰ (宝島)、キョウワ-トウ⁰ (共和党)
- (30) 残された問題 (4モーラの謎)：なぜ4モーラと5モーラの間には大きな壁があるか？
- 日本語の1モーラ ≒ 125msec (0.125秒) (Han, M.S. 1994)
 - 4モーラ ≒ 500msec (0.5秒)
 - “neural clock”：約0.5秒刻み、人間の運動活動 (motor activities) の基本単位 (Allen 1975)
 - ・人間が普通に歩くテンポ
 - ・英語などの言語におけるリズム (強勢拍リズム) (Dauer 1983)

参考文献 (詳細は窪菌 (2023) の参考文献欄参照)

Ito, Junko (1990) Prosodic minimality in Japanese. In M. Ziolkowski, M. Noske, and K. Deaton (eds.) *CLS 26-II: The Parasession on the Syllable in Phonetics and Phonology*, 213-239. Chicago: Chicago Linguistic Society.

Ito, Junko, Yoshihisa Kitagawa, and Armin Mester (1996) Prosodic faithfulness and correspondence: Evidence from a Japanese argot. *Journal of East Asian Linguistics* 5(3): 217-294.

窪菌晴夫 (2004) 「音韻構造から見た単純語と合成語の境界」音声文法研究会 (編) 『文法と音声IV』 123-143. くろしお出版.

窪菌晴夫 (2023) 『一般言語学から見た 日本語の語形成と音韻構造』くろしお出版.

窪菌晴夫、伊藤順子、アーミン・メスター (1997) 「音韻構造からみた語と句の境界」音声文法研究会 (編) 『文法と音声』 147-166. くろしお出版.

窪菌晴夫、小川晋史 (2005) 「ストライキ」はなぜ「スト」か?—短縮と単語分節のメカニズム—大石強、西原哲雄、豊島庸二 (編) 『現代形態論の潮流』 155-174. くろしお出版.

Ohno, Kazutoshi (2000) The lexical nature of *rendaku* in Japanese. *Japanese/Korean Linguistics* 9: 151-164. Stanford: CSLI.